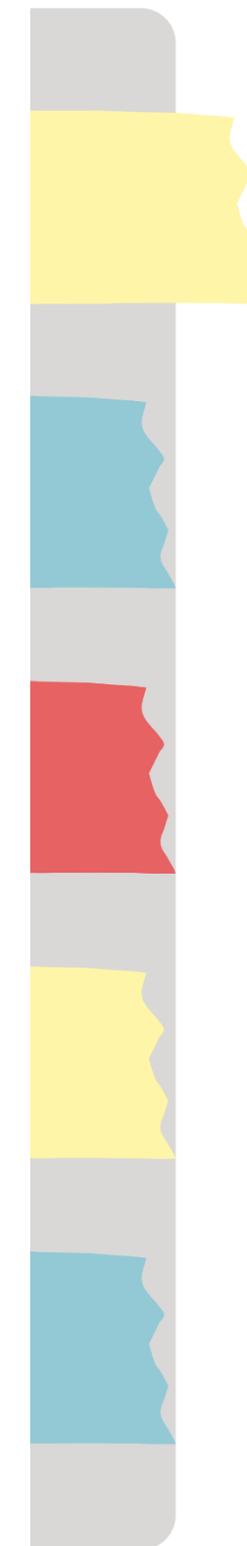
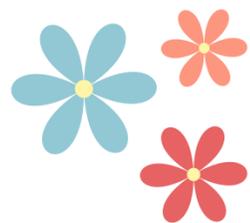




八郷地区統合小学校建設基本構想
第1回 ワークショップ

趣旨説明



これまでの経緯

R1.6・石岡市立小中学校統合再編計画策定

少子化に伴う学校の小規模化の進展を踏まえ、児童・生徒に対して、より良い教育環境を整備・維持していくため、地域・PTA・学校・学識経験者などで構成する審議会で協議し、地域説明会やアンケートを踏まえて策定しました。

これまでの経緯

R7.1・石岡市立小中学校統合再編計画改定

元々、八郷中学校地区の8校を1つに統合する方向性が示されていたものの、2段階で統合する計画でした。しかし、統合協議が滞っている状況から、令和7年1月に計画を見直し、2段階ではなく、一度に8校を統合する方針に切り替えました。

なぜ統合を進めるのか

教育の質への対応

○子どもの数が減少し続ける

一定規模の教育環境が維持できなくなる
クラス替え・班活動の制約・多様な考え
に触れる機会の減少、教員不足

なぜ統合を進めるのか

- ・ 児童数の減少が予測を上回る状況

8校合計児童数

令和7年度	721人	(複式学級3)
令和13年度予測	461人	(複式学級11)

比較できる令和12年度の児童数では、R1時点の予測で607名だったがR6時点の予測で480名と大幅な減少が予測される。

なぜ統合を進めるのか

教育の質への対応

○義務教育 9 年間を見通した教科担任制

小学校の教科担任制の導入に向け、
一定規模の学校が必要。教員不足。

なぜ統合を進めるのか

教育の質への対応

○求められる学校施設の質への要求

GIGAスクール構想、バリアフリー
地球温暖化対策、SDGS

なぜ統合を進めるのか

学校の老朽化が進む

○築40代の学校が多数、柿岡小学校は52年

築50年が過ぎると機能・性能に支障
全ての学校維持は財政上不可能
統合再編により推計で138億円の削減効果
削減効果をより良い学校づくりに活かせる。

計画概要

・ 統合時期 R13.4 統合を目指します。

・ 学校の運営 小中一貫校

※義務教育学校か小学校中学校かは検討中

・ 学校の場所 八郷中学校の隣接地

基本構想

- 建設に向けた学びの空間としての考え方
- 校舎等の配置計画
- 必要な部屋面積、動線を踏まえた配置

参考

学校統合の経緯 瓦会小学校

瓦谷学校（雲照寺） M8～

宇治会小学校（源照寺） M11～

瓦会尋常小学校 M19～

瓦会小学校 S22～

※一部省略

参考

学校統合の経緯 林小学校

上林小学校 M6～

下林小学校 M14～

片岡小学校 M13～



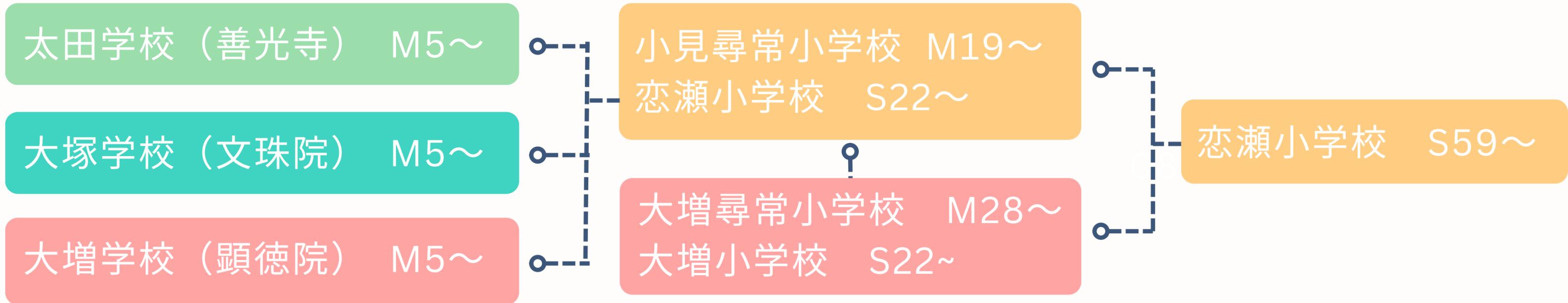
下林尋常小学校 M19～

林小学校 S22～

※一部省略

参考

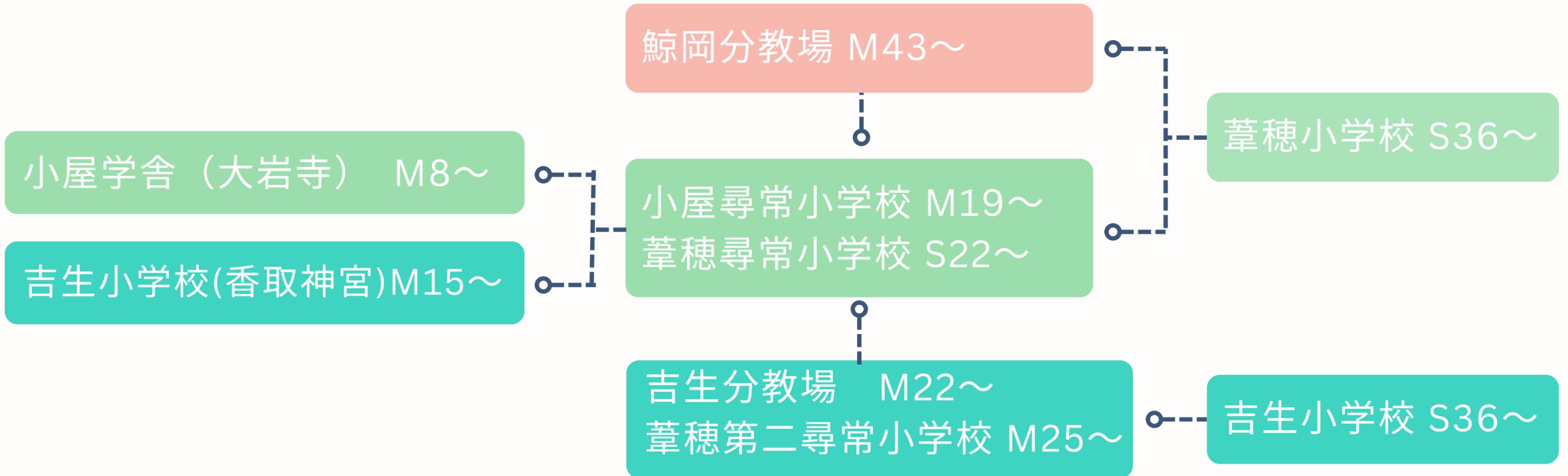
学校統合の経緯 恋瀬小学校



※一部省略

参考

学校統合の経緯 葦穂小学校 吉生小学校



※一部省略

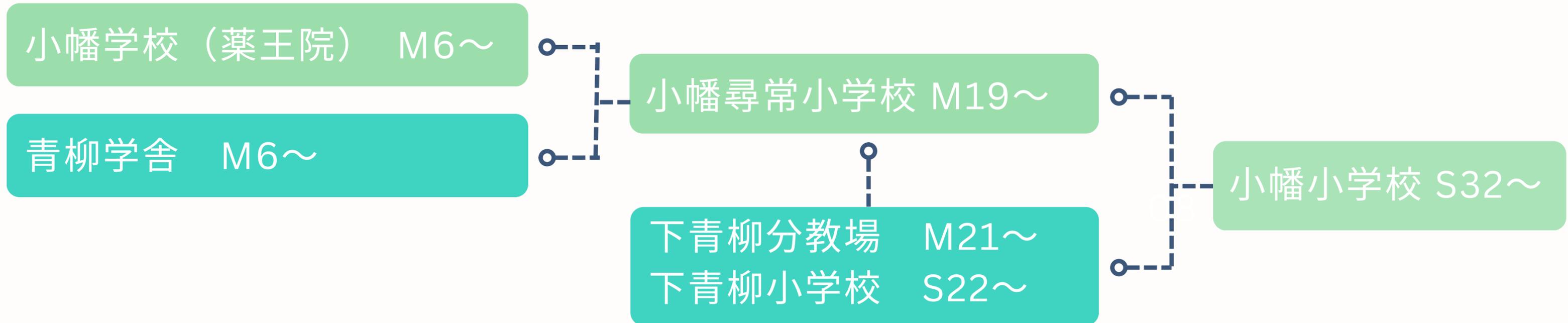
参考

学校統合の経緯 柿岡小学校



参考

学校統合の経緯 小幡小学校



※一部省略

参考

学校統合の経緯 小桜小学校

